

事業所名

こどサポ 古河教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

6 月

7 日

法人（事業所）理念		利用児童が障害の有無や等級に関わらず、将来的に社会の一員として、他者への共感や共同をはかりながら生活ができるように支援を行っていく。					
支援方針		運動療育をベースとして、筋力調整、動作予測、記憶及び集中力の強化を行い、認知機能の強化をはかる。 また、運動療育や特別活動、並びに 自由遊びを指導する際に、適切な場面で指導員が介入し、対人マナーや危険予知、他者への共感、言語理解について、療育を行う。 基本日程 ： 【 手洗い ➡ 宿題 ➡ おやつ ➡ 自由遊び ➡ 運動療育 ➡ 短時間集中学習 ➡ 自由遊び ➡ 帰宅の用意 】					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・手洗いの仕方、手洗いの大切さ、手洗い後に検温及び体調報告 ・連絡帳の確認、姿勢の保持、時間管理、集中の方法の習得 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認					
	運動・感覚	・こどサポ運動プログラム（体幹運動、ビジョントレーニング、認知行動訓練、一斉指示、ワーキングメモリー強化）					
	認知・行動	・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知、ラジオ体操、動物ポーズ ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 ・百ます計算、えんぴつの持ち方、アウトプットの訓練、離席防止訓練					
	言語 コミュニケーション	・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦（ルールの理解、勝敗のこだわり）、一斉指示 ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知					
	人間関係 社会性	・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦（ルールの理解、勝敗のこだわり）、一斉指示 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、					
家族支援		各教室の管理者が中心となり対応している。必要に応じ、担当者に引き継ぐ。 担当者は、・ペアレントトレーニングの有資格者である。 ・アンガーマネジメントの有資格者である。				移行支援	学童保育併用者については、症状の緩和が感じられたタイミングで、保護者との話し合いのもと利用の回数を減少させたのち、移行となるケースが見られる。高学年では、スポーツ少年団への加入も促している。
地域支援・地域連携		個別ケース会議への参加、虐待や貧困状態の可能性がある児童への児童相談所との連携、その他、こども食堂等の運営及び支援団体との連携をはかっている。				職員の質の向上	・年に10回前後、研修動画の視聴及び、レポート作成を行っている。 ・メンター制度を導入し、案件ごとにアドバイスを行っている・
主な行事等		学習発表会・手作りまつり・買い物学習・工場見学（長期休み中）・社会科学習（長期休み中）・就労事業所訪問					

事業所名

こどサポ 創育舎

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

6 月

7 日

法人（事業所）理念		利用児童が障害の有無や等級に関わらず、将来的に社会の一員として、他者への共感や共同をはかりながら生活ができるように支援を行っていく。					
支援方針		運動療育をベースとして、筋力調整、動作予測、記憶及び集中力の強化を行い、認知機能の強化をはかる。 また、運動療育や特別活動、並びに 自由遊びを指導する際に、適切な場面で指導員が介入し、対人マナーや危険予知、他者への共感、言語理解について、療育を行う。 基本日程 ： 【 手洗い ➡ 宿題 ➡ おやつ ➡ 自由遊び ➡ 運動療育 ➡ 短時間集中学習 ➡ 自由遊び ➡ 帰宅の用意 】					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・手洗いの仕方、手洗いの大切さ、手洗い後に検温及び体調報告 ・連絡帳の確認、姿勢の保持、時間管理、集中の方法の習得 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認					
	運動・感覚	・こどサポ運動プログラム（体幹運動、ビジョントレーニング、認知行動訓練、一斉指示、ワーキングメモリー強化）					
	認知・行動	・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知、ラジオ体操、動物ポーズ ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 ・百ます計算、えんぴつの持ち方、アウトプットの訓練、離席防止訓練					
	言語 コミュニケーション	・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦（ルールの理解、勝敗のこだわり）、一斉指示 ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知					
	人間関係 社会性	・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習的要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦（ルールの理解、勝敗のこだわり）、一斉指示 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、					
家族支援		各教室の管理者が中心となり対応している。必要に応じ、担当者に引き継ぐ。 担当者は、 ・ペアレントトレーニングの有資格者である。 ・アンガーマネジメントの有資格者である。				移行支援	学童保育併用者については、症状の緩和が感じられたタイミングで、保護者との話し合いのもと利用の回数を減少させたのち、移行となるケースが見られる。高学年では、スポーツ少年団への加入も促している。
地域支援・地域連携		個別ケース会議への参加、虐待や貧困状態の可能性がある児童への児童相談所との連携、その他、こども食堂等の運営及び支援団体との連携をはかっている。				職員の質の向上	・年に10回前後、研修動画の視聴及び、レポート作成を行っている。 ・メンター制度を導入し、案件ごとにアドバイスを行っている・
主な行事等		学習発表会・手作りまつり・買い物学習・工場見学（長期休み中）・社会科学習（長期休み中）・就労事業所訪問					

(別添資料1)

事業所名

こどサポ 創育舎プラス

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

6 月

7 日

法人（事業所）理念		利用児童が障害の有無や等級に関わらず、将来的に社会の一員として、他者への共感や共同をはかりながら生活ができるように支援を行っていく。					
支援方針		運動療育をベースとして、筋力調整、動作予測、記憶及び集中力の強化を行い、認知機能の強化をはかる。 また、運動療育や特別活動、並びに 自由遊びを指導する際に、適切な場面で指導員が介入し、対人マナーや危険予知、他者への共感、言語理解について、療育を行う。 基本日程：【 手洗い ➡ 宿題 ➡ おやつ ➡ 自由遊び ➡ 運動療育 ➡ 短時間集中学習 ➡ 自由遊び ➡ 帰宅の用意 】					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・手洗いの仕方、手洗いの大切さ、手洗い後に検温及び体調報告 ・連絡帳の確認、姿勢の保持、時間管理、集中の方法の習得 ・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習の要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認					
	運動・感覚	・こどサポ運動プログラム（体幹運動、ビジョントレーニング、認知行動訓練、一斉指示、ワーキングメモリー強化）					
	認知・行動	・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知、ラジオ体操、動物ポーズ ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、 ・公文式学習（公文教育研究会公認）、百ます計算、えんぴつの持ち方、アウトプットの訓練、離席防止訓練					
	言語コミュニケーション	・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦（ルールの理解、勝敗のこだわり）、一斉指示 ・点呼、返事の仕方、友達の名前の認知					
	人間関係 社会性	・テーブル拭き、食事マナー、買い物学習の要素、適量飲食の習得、忘れ物の確認、次回の予定確認 ・集団レクリエーション、チーム戦・個人戦（ルールの理解、勝敗のこだわり）、一斉指示 ・レゴブロック、アナログゲーム、昔の遊び、球技遊び、					
家族支援		各教室の管理者が中心となり対応している。必要に応じ、担当者に引き継ぐ。 担当者は、 ・ペアレントトレーニングの有資格者である。 ・アンガーマネジメントの有資格者である。			移行支援		学童保育併用者については、症状の緩和が感じられたタイミングで、保護者との話し合いのもと利用の回数を減少させたのち、移行となるケースが見られる。高学年では、スポーツ少年団への加入も促している。
地域支援・地域連携		個別ケース会議への参加、虐待や貧困状態の可能性がある児童への児童相談所との連携、その他、こども食堂等の運営及び支援団体との連携をはかっている。			職員の質の向上		・年に10回前後、研修動画の視聴及び、レポート作成を行っている。 ・メンター制度を導入し、案件ごとにアドバイスを行っている。
主な行事等		学習発表会・手作りまつり・買い物学習・工場見学（長期休み中）・社会科学習（長期休み中）・就労事業所訪問					